

# 5 月例会は中止

## 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言延長のため

若葉の薫季節になりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、皆さんの周りでも何かと混乱が続いていることと思います。

さて、5月20日(木)に予定していた112回例会『**マダム・イン・ニューヨーク**』(2012年、インド、134分)(映画鑑賞会)は、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言措置期間の延長に伴い、中止することとしました。なお、この作品は、9月例会であらためて鑑賞することとします。

5月7日の首相の会見を受けて、代表委員及び事務委員など役員で相談して、急遽、中止を決定しました。感染防止対策に協力することに加え、緊急事態宣言措置期間中は、会場である加古川総合文化センター大会議室の使用ができなくなることが考えられるためです。

今後の詳しいことについては、次回のニュースやホームページなどでお知らせします。

### 5 月例会中止に伴う会費納入の取扱い

会費納入の取り扱いについては、会則第7条の規定により、新型コロナウイルス感染症流行に伴いこの会の活動(5月例会)を一部停止することにするため、4・5月の会費(1,000円)を免除することとします。

5月に年会費一括納入の方については、5月の例会が中止となりましたので、7月例会時に5,000円を納入いただくこととなります。

すでに一括前納の方については、次の納入時に精算するか、返金するなど個別に対応します。

### 定例総会の報告

2021年度総会を4月24日(土)午後4時から喫茶明日香北在家店で開催しました。(多くの会員への日程の告知ができていませんでした。お詫びいたします。)出席者6人、委任状10人。計16名で議案の検討をし、ほぼ原案どおり議決されました。

内容は、[報告1] 2020年度の活動を報告すること、[報告2] 2020年度の決算を報告すること、[議案1] 2021年度の役員を選任すること、[議案2] 2021年度の活動計画を定めること、[議案3] 2021年度の予算を定めること、で、全員一致で承認されました。

まず、2020年度の活動報告と決算報告について、新型コロナウイルス感染症の影響で3月例会に続き5月

例会が中止となったため、例会は年5回の開催でした。加古川地域での映画文化を広めるため、例年開催していた一般オープンの特別例会や兵庫県映画センターとの共催事業も行うことができませんでした。また、少しでも安価にできないかと議論した結果、1月例会は約30年前の16ミリフィルム作品を選定するなどしました。収支については、急遽中止となった2019年度の2020年3月例会分の支出を2020年度送りとしていたため、より厳しい収支状況となっています。単年度決算では約10万円の赤字でした。最も大きな課題である会員数については、前年度から10名減の135名でした。収支が厳しい中、会員さんから「通信費の補てんに切手を集めては」と提案があり、その結果、多くの切手が集まり3回分の郵送料減ができました。(引続き未使用の切手やハガキの寄付をお願いいたします。)また、24,441円のカンパを受けました。

2021年度の役員については、代表委員と事務委員の各2名、監査委員は前年度と変更ありません。

2021年度活動計画と予算についてですが、6回の例会計画としまとた。新型コロナウイルス感染症が収束する見通しが立たない状況ですので、特別例会等の具体的企画は未定です。

その他、5年前から実施している明石シネマクラブとの例会相互参加事業は好評で、引き続き続けます。

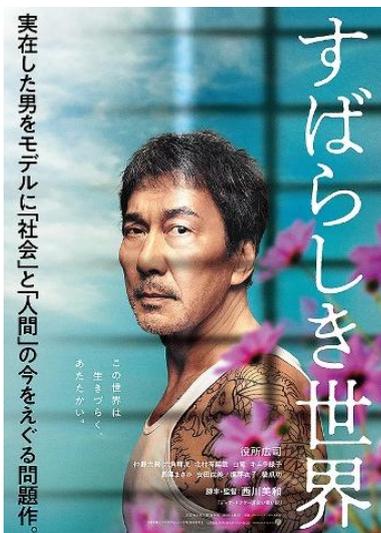
関係者からの物心の支援があり、収支が一時的に赤字になることはありますが、余裕はない状態で、ぎりぎり持ちこたえています。

今後この会の運営を続けていくためには、最低でも150名、安定運営のためには200名の会員が必要です。コロナ禍の中、お誘いするのも気を遣いますが、引き続き、入会者を増やすことにご協力をお願いします。

### 私の映画KAN 『すばらしき世界』

「よかったから見た方がいいよ」と言われたのが最終日の前の日。何の前知識もないまま映画が始まった。普段人懐っこく、困っている人をほっておけない主人公を演じているのが**役所広司**。映画が進むにつれ、主人公は人生の大半を刑務所で過ごした元殺人犯。刑期を終えて東京の下町で更生と人生再出発の暮らしが始まることわかってきた。強面でカッと頭に血が上りやすく、正義感あふれる故に恐ろしいほどの暴力に支配される主

人公。社会のルールから外れながらも、まっとうに生きようと苦悩する。その彼をさりげなく支える下町の人々の優しさ。その日々を丁寧に綴っている。涙と笑いの中で、更生していく難しさ、人はいくつになってもやりなおせるのか？この社会は本当に生きやすいのか？正義とは？と考えてしまった。役所広司さんの演技が光る作品でしたが、更生していく様子をテレビ番組にしようと画策するプロデューサーに長澤まさみ、ディレクターに



仲野太賀、弁護士に橋爪功、地道に応援するスーパーマーケット店長に六角精児、ケースワーカーに北村有起哉の面々もよかった。(和)

■題名/すばらしき世界

■監督・脚本/西川美和

■出演/役所広司、仲野太賀、六角精児、北村有起哉、白竜、キムラ緑子、長澤まさみ、安田成美、梶芽衣子、橋爪功

■2020年、日本、126分、ヒューマンドラマ

## 前回の例会報告

3月24日(水)の3月例会では、ロシア映画『私のちいさなお葬式』を鑑賞しました。

感想から：ロシアの姿を見られてよかった。お母さんと息子の心が少しずつ近づいていく様子を感じた。共感できる場面がたくさんあり、同世代の目線がとても面白かった。少しわかりにくかった。久しぶりの名曲を聴きました。あの鯉は、息子は、お母さんはどうなったの……と結末をあれこれと考える悲しみあり、笑いありの作品でした。幾度と流れるザ・ピーナッツの「恋のバカンス」は、当時ロシアで大ヒットしたそうです。

参加者 93名 明石 9名。

## 明石シネマクラブ例会情報

■名称/第65回特別例会『レディ・マエストロ』

(2018年、オランダ、139分)

■監督/マリア・ペテルス

■出演者/クリスタン・デ・ブラーン、ベンジャミン・ウエイライト、スコット・ターナー・スコフィールド、シエイマス・F・サージェント、アネット・マレアブ、レイモント・ティリ、ハイス・ショールテン・ヴァン・アシャット、リヒャルト・サメル、マイケル・ワトソン=グレイ

■ジャンル/ヒューマンドラマ、伝記、音楽

■ストーリー/1926年、ニューヨーク。養父母とオランダから移民してきたアントニアは、指揮者になるた

めなら、どんな困難にも挑むと決めていた。

世界中どこを探しても女性のプロの指揮者は一人もいない時代だったが、音楽への情熱だけは誰にも負けないアントニアは、ナイトクラブでピアノを弾いて稼いだ学費で、音楽学校に通い始める。

だが、ある“事件”から退学を余儀なくされ、引き留める恋人を置いて、アムステルダムからベルリンへと渡ったアントニアは、遂に女性に指揮を教えてくれる師と巡り合う。しかし、憑かれたようにレッスンに没頭するアントニアに、出生の秘密、恋人の裏切り、女性指揮者への激しいバッシングなど、次々とアクシデントが襲い掛かる。

マーラー、ドヴォルザークから、ガーシュウインの「ラブソディ・イン・ブルー」まで、数々の名曲と共に奏でる、夢を諦めないすべての人への応援歌。

■日時/6月25日(金)①AM10:00-、PM2:00-、③PM7:00-

■場所/アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容/加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付/会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリの番号が変わりました。

会員数 135人(3月24日現在)

